

政策シート 政策名 **05 地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成**
 予算費目名 **01 看護専門学校費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 ◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

・保健・医療・福祉の総合化、高度化に対応できる看護教育を実践し、地域医療の向上と市民の健康づくりに貢献できる看護師を育成する。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	62,222	61,422	69,200			
決算	52,479	53,555				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	157,800	164,800	171,800			
年間経費(予算又は決算+A+B)	210,279	218,355	241,000			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
看護師の養成(入学生の確保)(人)	人	目標	70	70	70	70	70	70
		実績	64	67				
看護師国家試験の合格率(卒業生)(%)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100				
相談、支援の件数(件)	件	目標	30	30	30	40	40	50
		実績	78	46				

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

・保健・医療・福祉の総合化、高度化に対応できる看護教育を実践し、地域医療の向上と市民の健康づくりに貢献できる看護師を育成する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

○60名に看護師国家試験の受験資格を取得させ、全員合格に導いた。
 ○学年定員70名のところ県の指導により留年生人数を定員から除き、67名の新入生を確保した。
 ○市内で働く看護師の資質の向上とその定着並びに未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	学校管理運営事業	—	—	○		224,815	62,815	19.8	3.0		4.5	
2	看護師就業促進事業	—	—	○		945	245	0.1				
3	看護専門学校デジタル運営経費	—	—	—		15,240	6,140	1.1			0.5	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						241,000	69,200	21.0	3.0		5.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 学校管理運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

少子化・高学歴志向及び大学定員の増加により入学生の確保に苦慮する中で、有能な学生を確保するとともに、看護教員の資質の向上を図り、地域医療に貢献できる実践看護師を育成する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S49	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立看護専門学校条例、浜松市立看護専門学校学則

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性									
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	61,709	60,901	62,815			
	決算	51,971	53,037				
	国・県支出		1,443				
	市債						
	その他	27,963	32,780	39,711			
	一般財源	24,008	18,814	23,104			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	156,400	163,400	162,000			
人工	正規	19.6	19.8	19.8			
	再任用(h31)	3.0	3.0	3.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	5.0	4.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)		208,371	216,437	224,815			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
看護師の養成(入学生の確保) (人)			目標	70	70	70	70	70	70
			実績	64	67				
看護師国家試験の合格率(卒業生) (%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	100				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
05 02 05 01 001065000 01 看護専門学校 大谷 洋子 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

看護師を目指す学生に修業期限3か年をかけ、校内及び病院等の実習施設において、学科・実習97単位(延べ3,000時間)の看護基礎教育を収め、看護師国家試験の受験資格を取得させる。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

成果

○60名に看護師国家試験の受験資格を取得させた。

卒業生のうち59名が看護師として就職し、その内57名が市内の医療機関に就職した。

1名は医療科学専門大学校助産学科へ進学した。

○学年定員70名であるが、留年学生を含めての定員となるため67名の新入生を確保した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

令和元年度末から今年度にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、当校においても講義のWEB授業への変更や実習場所の変更など学生の学ぶ機会の確保に苦慮した。現状においてもコロナ感染の収束に目途が立たないことから、引き続き学生の安全と学ぶ機会の確保に努めていきたい。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

新入生の確保においては、高校現役生の大学進学指向がより顕著になっており、学校訪問又は学校説明会で専門学校のメリットを強調し周知体制を強化する必要がある。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、有能な学生を確保するとともに、看護教員の資質の向上を図り、地域医療に貢献する有能な実践看護師を育成する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

看護師を目指す学生に修業期限3か年をかけ、校内及び病院等の実習施設において、学科・実習97単位(延べ3,000時間)の看護基礎教育を収め、看護師国家試験の受験資格を取得させる。

令和4年度から新カリキュラムに移行(97単位→102単位)することから、それに対応できる看護教員の人員確保と資質の向上を図る。

事業シート (事業名) 02 看護師就業促進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

- 市内で働く看護師の資質の向上とその定着の促進を図る。
- 未就業の看護師資格所持者への再就業支援を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H22	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	513	521	245			
	決算	508	518				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	508	518	245			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	700			
人工	正規	0.2	0.2	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,908	1,918	945			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
相談、支援の件数(件)			目標	30	30	30	40	40	50
			実績	78	46				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図る。
 - ・情報提供施設の整備、提供の促進……実践看護師に適した専門誌の整備をする。
Web検索システムを提供する。
 - ・看護技術の練習、指導(随時)
 - ・個別相談・支援



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- 未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図った。
 - ・情報提供施設の整備、提供の促進……実践看護師に適した専門誌を67冊購入した。
Web検索システムを提供した。
 - ・看護技術の練習、指導(随時)……参加人数0人
 - ・個別相談・支援……46件

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

令和元年度末から今年度にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、医療従事者に対する根拠のない偏見や勤務時間の増大などで心身ともに疲弊し離職者が相次いでいる。引き続き個別相談などのサポートにより離職防止を図っていく。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き、未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図る。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き、未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図る。
- ・本校卒業生を対象に、「卒後サポートLINE」を開設し、悩み事の相談など就職後のサポートをすることで離職防止を図る。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- 市内で働く看護師の資質の向上とその定着を図る。
- 未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図る。
 - ・情報提供施設の整備、提供の促進……実践看護師に適した専門誌の整備をする。
Web検索システムを提供する。
 - ・看護技術の練習、指導(随時)
 - ・個別相談・支援

事業シート (事業名) 03 看護専門学校デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

システムの維持管理経費及びシステム改修やタブレット端末導入などの臨時経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			6,140			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			6,140			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			9,100			
人工	正規			1.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)				15,240			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
05 02 05 01 001065000 03 看護専門学校 大谷 洋子 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・校内システムの維持管理。
- ・学内管理システムによるデータ収集及び抽出。
- ・図書管理システムによる図書の管理。
- ・医学中央雑誌Web検索による情報提供。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・校内システムの維持管理をした。
- ・学内管理システムによるデータ収集及び抽出をした。
- ・図書管理システムによる図書の管理をした。
- ・医学中央雑誌Web検索による情報提供をした。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

令和元年度末から今年度にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、年度当初は学内での対面授業が実施できずWeb授業で対応した。未だコロナ感染症の収束が見えない状況のなかで、学生の学びの機会を確保するために学習支援システムを年度末までに導入する。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

学習支援システムの導入による学生の学びの機会等の確保。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・校内システムの維持管理。
- ・学内管理システムによるデータ収集及び抽出。
- ・図書管理システムによる図書の管理。
- ・医学中央雑誌Web検索による情報提供。
- ・学習支援システム導入による学生の学びの機会等の確保。